

# 意志ある学びー未来教育 [ 資料 S' ]

鈴木 敏恵 シンクタンク未来教育ビジョン代表  
一級建築士 (Architect/設計思想/教育クリエイター)  
[s-toshie@ca2.so-net.ne.jp](mailto:s-toshie@ca2.so-net.ne.jp)

情報力 ➡ 思考力 ➡ 判断力 ➡ 表現力 ➡ 行動力

- 課題解決の思考プロセスとコーチング
- 活用例

## 課題解決の思考プロセス

図1 課題発見の手順



図2) 課題の要因を考える



2') 主要因を絞り込む



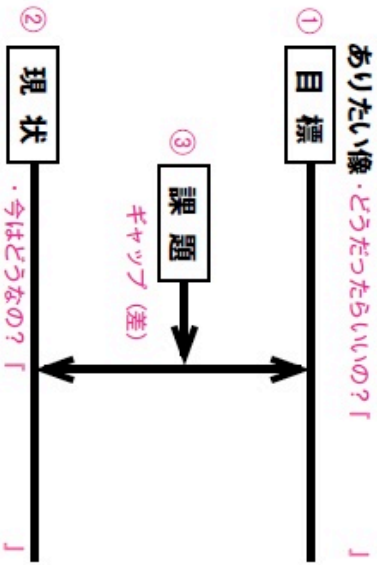
図3) 課題解決策の思考プロセス



図3) 現実への具体的な行動提案をする

# ＜課題解決の思考プロセスとコーチング＞

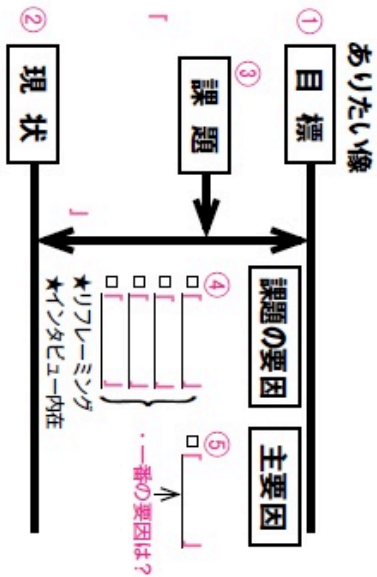
図1. 課題とは何か



思考  
“課題”とは、本来あるべき状態ではないので、  
“なんとか解決したい!” というもの。

- 課題とは「ありたい状態」と「現状」とのギャップ（差）にある。だから、自分で課題を設定できないときは、
- ① ありたい像（願いや数値）を問う。  
C「どうだったらいいの？」
  - ② 現状をコーチングする。  
C「今はどうなの？（今、それはどうなの？）」
  - ③ C「課題はなに？」

図2. 要因を考える

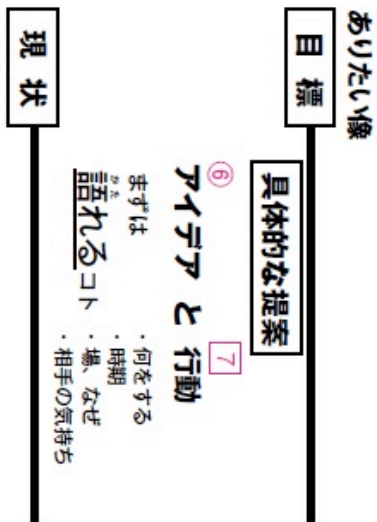


思考  
なぜそれは起こるのか——→  
物事には必ず原因があるんだ！

思考  
考えられる原因は？  
・よく見る、観察する  
・推奨する  
・類推する  
・事例を調べる  
・ほかには？

- ④ C「考えられる理由をどんな書き出しでみよう」  
思考  
書き出す——→ 顕在化  
モシはないか  
データリはないか  
ほかにはないか確認できる  
俯瞰できるようにする。

図3. 課題解決する



④こそすべて！ ここで差が出る！

- ・見えないものを見る力。情報
- ・「見る」はイコール「情報獲得」なり！
- ・細かい所まで目を離さず、定点観測。
- ・違和感：本来あるべき状態と違うを発見。
- ・比較、相違、照らし合わせる。

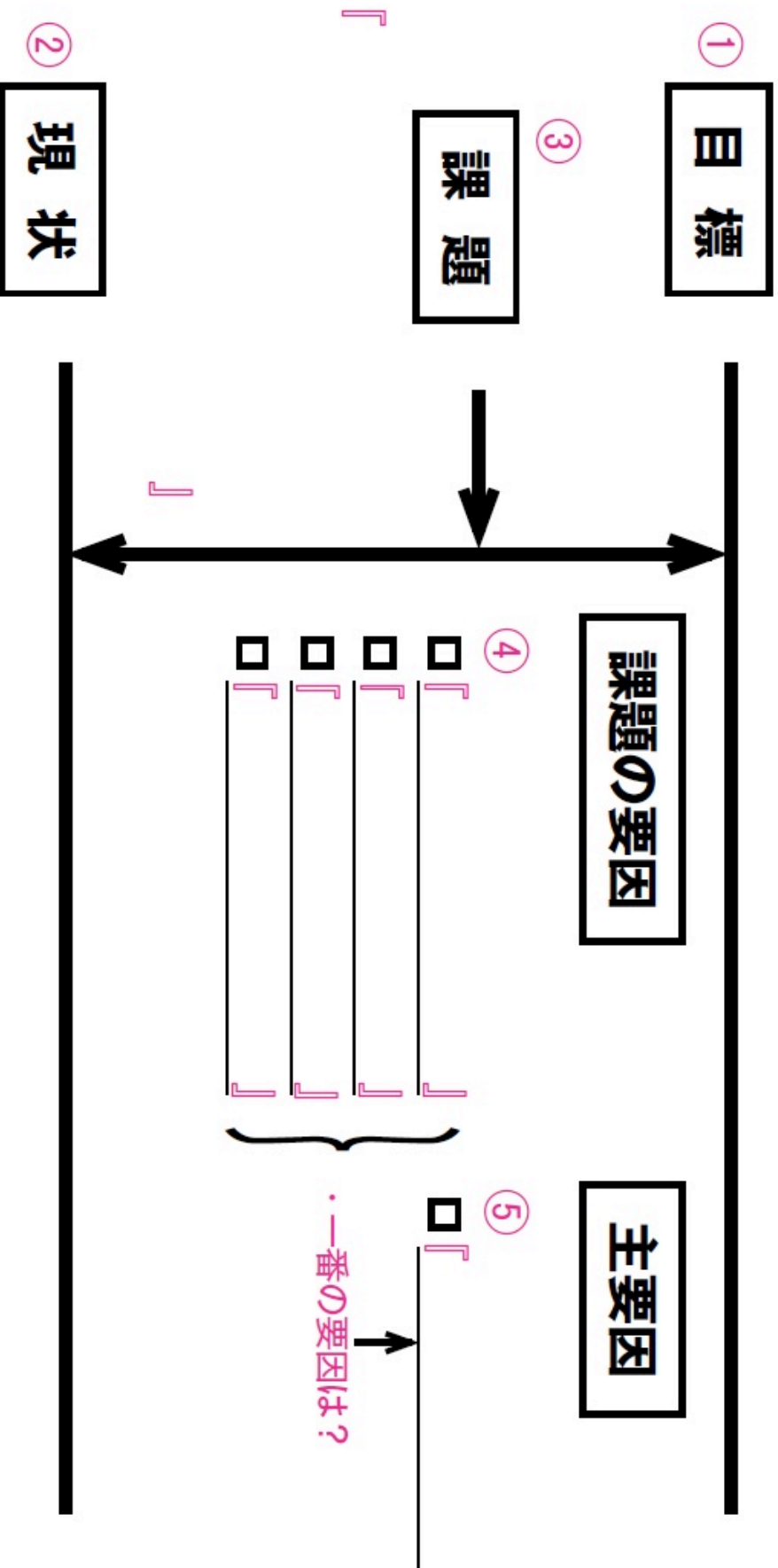
- ⑤ 要因を選び出す。  
C「これが一番の要因だというものは？」
- ⑥ C「その要因をとり除くにはどうしたらいい？」  
S アイデア（着想）  
全体像が描ける  
思考  
現状を変えるのだから現実を知ってないといけない

- 思考  
ストーリー、映像、その人の頭の中にあるものをきかせてもらう。「登場人物、背景、大道具」
- ⑦ C「具体的にどんなふうに行ったらうまくいく？」  
いつ——いつやったら一番効果上げる？  
どこで、だれが、どんなふう、何から始める、準備は？

# <課題解決の思考プロセスとコーチング>

図2. 要因を考える

ありたい像



出版予定の新刊原稿のため一切の無断転載・翻訳等を禁ず。

©2015 シンクタンク未来教育ビジョン 鈴木敏恵 All Rights Reserved